

防コミの歩き方



竹の台ぼうさいキャンプ

8月8～9日、竹の台小学校で1泊2日のぼうさいキャンプをおこないました。避難所体験として始まったこのキャンプは今年で6回目です。今年は参加者・スタッフ・幼稚園・児童館などすべて合わせて約180人と多くの方が参加しました。

●ぼうさいキャンプの目的・目標

毎年、夏休みにおこなっている、ぼうさいキャンプの目的は、防災の知識を伝えていくだけではなく、どんな状況に置かれても自分で考え、他の人とコミュニケーションをとり、臨機応変に行動する力を身につけることです。スタッフはもちろん、参加者である子どもから大人まで多世代での問題解決ができるようになることを目標にしています。

●自分の命を守るための訓練

防災の中で、基本的なことで最も重要な「自分の命は自分で守る」を今年のテーマにしてキャンプを実施しました。

今回のプログラムの柱は2本あります。1本目は「考えること」です。もしプールで自分が溺れたら…もし溺れている人を見つけたら…など「もしも」の時を考える訓練をしました。自分が溺れないために、タオルやランドセルなど身近にあるものを使い浮く練習をし、溺れている人を見つけた時の行動の仕方も考えて、実践してみました。

2本目は、「実際に見て自分の言葉で伝える」です。夜のまち歩きでは、昼と違う点や自分のまちをじっくり見ました。雨の降る中、学校から自分の家まで2本の避難



経路を考えてもらい実際に歩き、感じたことを伝える訓練をしました。いつも見守ってくれている110番の家に訪問し、夜のまち歩きで防災だけでなく防犯のことを考えるきっかけづくりにもなりました。

●学生と地域のつながりを強化

私は5年前から地元の学生をメンバーに防災Jr.チーム「ばんぶーふぁみりー」を作り、地域の方々とイベントを作ってきました。私たちのチームは、3つの目標を掲げて活動しています。

- ①子どもなりに発信源になること。
- ②子どもを通して防災を広げていくこと。
- ③このチームが懸け橋となり、竹の台全体がひとつの家族になる。

この3つの目標を今後も、学生の得意なことと防災を組み合わせ、若い力で地元を盛り上げ、地域全員が顔見知りになれるきっかけづくりをし、地域と共に災害に強いコミュニティづくりをしていきたいです。
(竹の台地区防災・防犯福祉コミュニティ 副会長・防災Jr.チームばんぶーふぁみりー 代表 三好萌)